

## JBL4350A 奮闘記(11)

### —ケーブルの進展—

#### 1. 始めに

本報ではこれも紆余曲折の多かったケーブルについて報告いたします。JBL4350Aを導入した頃はちょうど江川氏の問題提起を受けて第一次ケーブルブームが起こった頃でした。最初はスピーカーケーブルから始まり、ついで RCA アナログケーブルが注目の的となりました。その後、オーディオ誌で電源ケーブルに F ケーブルを使用する試みの記事があり、PC オーディオの進展とともに USB ケーブルや LAN ケーブルも注目されるようになってきました。本報ではケーブルに関する経過を整理してみたいと思います。

#### 2. ケーブルの進展

##### 2-1) スピーカーケーブル

第一次ケーブルブームの時に売り出されたモンスターケーブルなどいくつかのケーブルを試した後、ビンテージショップに勧められて Western の撚り線を使うようになりました。その後、インターフォン用の単線なども試し FAL の古山社長に紹介していただいた Western の単線で落ち着いていましたが、インフラノイズ社からスピーカーリベラメンテが発売されたのを機会にこれに乗り換えました。この経過はオーディオ実験室で報告していますが、まさかスピーカーリベラメンテが Western を超えるとは予想もせず JBL4350A に使用した時の効果の大きいことは一緒に試聴した同席者各位も驚かれたものでした。なお、スーパーツイーター用には Western の細線やインターフォン用の単線も残っています。

##### 2-2) RCA ケーブル

第一次ケーブルブームの時にモガミのケーブルなどを試し、その後、戦闘機搭載のコンピュータに使用されていると称するテフロン線で特注したり、銀線を買ってきて自作したりしましたが、単身赴任先で RCA ケーブルを追加する必要が生じ、オーディオ誌でおなじみの著名ブランドのケーブルをいくつか試しました。最終的には ZONOTONE とノイマン製を選びました。その後、あるショップで Vital Audio のスタディオ用ケーブルを勧められ、その癖のない音に惹かれ、さらにオーディオ仲間に教えていただいた透明性に優れたラダーケーブルや、これも偶然ショップで見つけたインフラノイズ社のベルカントケーブル、LINN の LP-12 を購入した時に LINN ショップで勧められた LINN のケーブルもクラシック向きであるということから好みに合うということでこれらを混在して使用することになりました。そしてインフラノ

イズ社のリベラメンテの発売を機に順次これに置き換えていきました。特に MC カートリッジのステップアップトランスの引き出しに大きな効果がありました。これらの経過はオーディオ実験室のページに報告しています。御用済みになったケーブルはサブシステムや別宅のシステムに使用していますので無駄にはなってはいません。少し緩めの音がするヴィンテージ機器にはラダーケーブルや LINN のケーブルはよくマッチしています。また、JBL4350A のミッドバスからツイーター領域の駆動アンプにはリベラメンテを使用していますが、ダブルウーファースの駆動アンプにはベルカントを、スーパーツイーターの駆動アンプには LINN のケーブルを使用しています。

#### 2-3) フォノケーブル

フォノケーブルもあれこれ模索しましたが、LINN の LP-12 を購入した時に LINN のフォノケーブルに替えて現在に至っております。

#### 2-4) デジタルケーブル

当初デジタルケーブルなんかで音が変わるものかと思っていましたが、初めてパーツコネクションのDACを導入した時、試みにデジタルケーブルを替えてみましたところ、その変りように驚いたものです。その後、ベルデンやオルトフォンや ZONOTONEやオヤイデなどを使っていましたが、インフラノイズ社がDCGシリーズのケーブルを出したのを機会にこれを主に使うようになりました。同社がケーブルの開発に純正律で調律された音楽を滲みのない音で再生できるかどうかを判断基準にしていると知って、これらの経過をオーディオ実験室に報告するとともに、種々の音律の判別のし易さをケーブルの評価方法に使うことを思いつき、オーディオ論壇のページに音律等の再生能力による再生装置の評価方法についての実験と考察として報告しております。

#### 2-5) USBケーブル

PC オーディオを始めた当初、USB ケーブルは通常の PC 用のケーブルを使用していました。いくつか試してみると音の違いに気が付きました。オーディオ用の USB ケーブルとして初めて Wireworld から初めて発売されたものを早速購入し、その音の違いに驚いたことを覚えています。その後、インフラノイズ社から USB-W4 が発売されたのでこれを購入し、現在に至っています。この経過はオーディオ実験室で報告しています。短いものについては、ベルキンと USB-W1 を購入しましたが、後者で落ち着いています。

#### 2-6) LAN ケーブル

NAS用のLANケーブルについては、通常のPC用のケーブルを使用していました。オーディオ誌の記事を見て AIW 製を購入し、現在に至っております。

#### 2-7) クロックケーブル

クロックケーブルは工業用の 75 オームの BNC ケーブルを使用していました。ある時インフラノイズ社の DCG シリーズの BNC ケーブルを試しに使ってクロックケ

ケーブルでも音が変わるのに驚きました。しばらくこれで落ち着いていましたが、インフラノイズ社のクロックリベラメンテを聴いて DCG を凌駕したことからクロックリベラメンテに置き換えました。この経過はオーディオ実験室で報告しています。

#### 2-8) 電源ケーブル

電源ケーブルについては前述のように F ケーブルの自作品などを使っていましたが、現在はオルトフォンやオヤイデなど、一般の市販品を使用しており、格別の配慮は行っておりません。

なお、上記のうち、最近導入したインフラノイズ社のケーブルについての報告は、オーディオ実験室のケーブルのページに掲載されています。即ち、USB-W4 については USB-W4 試聴記として、DCG ケーブルによる音律再生評価については一連の音律の再生能力による再生装置の評価実験の報告として、リベラメンテについては一連のリベラメンテケーブルを聴くとして、デジタルリベラメンテについては一連のデジタルリベラメンテ報告として、クロックリベラメンテについては一連のクロックリベラメンテ試聴報告として、スピーカーリベラメンテについては一連のスピーカーリベラメンテ試作品の試聴と一連のスピーカーリベラメンテの試聴としてそれぞれ掲載されています。

### 3. まとめ

スピーカーリベラメンテについてはスピーカーリベラメンテ試作品の試聴とスピーカーリベラメンテの試聴のレポートにありますように、最終的に JBL4350A が満足いくような鳴り方をし始めたことでその効果が大きいことには間違いありませんが、前段のリベラメンテ、デジタルリベラメンテなどの効果が相加的、あるいは相乗的に働いた結果であると考えています。また、当然、ケーブルだけではなく GPS-777 など一連のクロック関連機器やクロック入力のあるプレイヤーやデジタルレコーダーがあって初めて総合的な効果が得られたものと思っております。

以上